

## 第4回 ウルトラ FM 番組審議会

### 1 開催年月日

令和元年10月5日（金） 10：00～12：00

### 2 開催場所

須賀川市民交流センターtette 4-6ルーム

### 3 委員の出席

委員総数 6人

出席委員数 4人

#### (1) 出席委員の氏名

堀江祐介（会長）

安藤清美（副会長）

横山知佳

久保木彩歌

#### (2) 欠席委員の氏名

真壁正人

村上香織

#### (3) 放送事業者側出席者

菊地大介（担当取締役）

柳沼宏延（放送局長）

### 4 あいさつ

#### (菊地担当取締役)

開局して半年が過ぎ、来年1月で開局1年となります。パーソナリティやスタッフも半年が過ぎ、落ち着いた部分がある一方でマンネリ化している部分もあります。10月に秋の番組改編を行ったほか、イベント放送ではきうり天王祭、花火大会、これからは子どもの祭典、円谷幸吉マラソン大会を行い、11月には松明あかしの中継を行う予定です。営業の方は、スポンサー獲得が低迷しているが、エンジンを入れ直し取り組みたいと思います。開局後、多くの市民の皆様から”ラジオを聞いている“と言う声が頂いていることから、皆さんの意見を聞き、よりよい放送運営に生かしたい。

(堀江会長)

ウルトラ FM は、前回の番組審議会以降、須賀川の情報発信をしっかりと行っていると思う。スタッフの方も頑張っているので感謝したい。これからの番組作りを楽しみにしている。市民が求めている情報をとらえ、番組作りに生かしてほしい。

## 5 議題

- (1) 須賀川市防災訓練特別生放送（9月29日放送分）について
- (2) ミラーストーンのモーモー娘（9月16日放送分）について
- (3) ウルトラ FM 秋の番組改編の報告について
- (4) その他

## 6 議事の概要

- (1) 須賀川市防災訓練特別放送（9月29日放送分）について  
事務局からの概要説明の後、意見聴取を行った。

(堀江委員長)

番組は3時間生中継を行いました。長くなかったですか。

(柳沼局長)

程よい番組放送と思います。今後も防災ラジオとして市と連携し、防災意識を高める番組作りに生かしていきたい。

(安藤副委員長)

市民が防災意識を高めるためにもラジオ中継は必要。これからも防災ラジオとして番組作りに取り組んでほしい。

(横山委員)

東日本大震災を経験した自治体として、ラジオを通じて防災意識を高める放送を続けてほしい。

(久保木委員)

防災意識を高めるためにもラジオは必要と思う。

(菊地担当取締役)

須賀川市の松が丘町内会では独自の防災訓練を行っている。防災への取り組みに特徴のある自治会と連携し、防災ラジオを行いたい。昨年に発生した北海道胆振地方での地震、最近では千葉県で台風によって停電が起きるなど、防災への新たな考えとして、電気の供給情報などを伝

えるなど、考える必要がある。

(横山委員)

娘が北海道での地震の時にいたが、携帯の充電はあったが、基地局が停電となり使えなくなり不安だった。不安解消のためにもラジオの必要性を改めて感じた。

(菊地担当取締役)

北海道での地震時、ラジオで建設会社が独自に携帯電話の充電のための電源の提供を行い、電源を必要としている人への情報を伝えていた。トイレも、今は電気がなければ使えないので、手動でトイレの水を流す方法をメーカーごとにラジオで伝えるなど、多くの人が必要としている情報を伝えていた。今、多くがオール電化であるため、電気は必要である。ミュージックボードでは防災コーナーがあるが、ウルトラ FM でも、独自の須賀川市の防災コーナーを制作したいと考える。これだけ、地震や台風が多く発生している中で、電気はとても重要である。

(堀江委員長)

須賀川の街中では、今でも手汲みができる家庭がある。水の提供場所も、災害時に放送できるようにしてほしい。

(横山委員)

電気がないと、今は FAX や電話も出来ない。卸町団地で水が上がったなどの緊急を要する情報を FM でも伝えてほしい。特に震災時に避難場所の空き情報やサポート情報なども。

(安藤副委員長)

災害時に市役所の情報を流せるシステムを作ることで、ウルトラ FM の価値は高くなる。身近な情報を流してほしい。

(菊地担当取締役)

地域メディアであるウルトラ FM では、市民が必要とする情報を放送するシステムを市と協議しながら確立していきたい。

(2) ミラーストーンのモーモー娘（9月16日放送分）について  
事務局からの概要説明の後、意見聴取を行った。

(久保木委員)

若者目線の内容なので、同世代には聞きやすい。流す曲も話題の情報も。特に鏡石町の情報に特

化した内容なので分かりやすい。ただ、夜7時30分からの放送なので、食事をしている時間とかぶるので聞く人が少ないのでは。鏡石町でもラジオが聞こえるので良かった。

(安藤副委員長)

番組の初めに、鏡石の町歌である「牧場の朝」が流れているので良いと思う。聞いたときにゲストも含め話す人が多いので、話の内容と誰が話しているか、話している内容が理解できなかった。3人程度の出演がちょうど良いのではないかと思う。

(久保木委員)

登場人物が多いので分かりにくかった。話す内容を絞った番組の方が良いのではないか。

(堀江委員長)

鏡石町の情報を須賀川市にあるウルトラ FM で流すことはとても良い。須賀川にいて鏡石の情報を聞いて良かった。今後は、天栄村、玉川村など地域と連携し、番組作りに生かすことで、ラジオを聞いてくれる人が多くなると思う。

(菊地担当取締役)

モーモー娘は、鏡石育ちの4人のグループ。他のラジオ局にも出演した経験もあり、鏡石町を応援したい気持ちがきっかけで番組がスタートした。目的は、鏡石町の人に聞いてほしいことから始まり、20代が務める番組はこししかない。ウルトラ FM では、幅広い年齢の人に聞いてほしいと思いますので、今後もよい番組を作っていきたい。

### (3) ウルトラ FM 秋の番組改編の報告について

事務局の柳沼局長から番組改編についての説明が行われた。

(堀江委員長)

番組改編で歌謡曲を放送するのは、世代にとって聞く人が多いのでいいと思う。

(久保木委員)

若い人も知らない曲を聞くことで、親世代の話題に取り入れられるのでいいと思う。

(横山委員)

番組で聞いた曲で昔の思い出の曲を思い出し、調べるようになった。

(4) その他

(安藤副委員長)

ウルトラ FM の周波数が自動車に自動的に設定できるようにはならないのか。

(柳沼局長)

できるか調べてみます。

(久保木委員)

パーソナリティでインターネットでのライブ配信を行っているが、反応はあるのか。

(柳沼局長)

一定の視聴者数がある。また、ウルトラ FM でも独自に YouTube アカウントを持っているので、ライブ配信について検討したい。

7 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・特になし

8 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：令和元年10月10日

9 その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

・12月を予定。開催日は会長と相談の上決定し、委員に連絡する。